

えひめ暮らしまでのステップ

えひめ暮らしをするために、まずは何から準備すべき？
心構えからリサーチの仕方まで、押さえておくべきポイントを紹介します。

えひめへの移住
準備START!

移住する前に準備しておくべき基本的なことをチェックしよう！

松原 えひめ移住コンシェルジュ 坂垣

松原 えひめ移住コンシェルジュ



愛媛には、全部で20の市町が存在します。さて、どこに住みましょう？

どの地域へ住みますか？ 地域選びの3つのポイント

1 愛媛＝暖かいとは限らない!?

愛媛は全般的に気候が穏やかな県ではありますが、冬は厳しい寒さで雪が積もる山間エリアも！事前に市町を確認を。

2 人付き合いがキモ!

濃厚な人付き合いが必要なエリアもあります。事前リサーチで心構えをし、転居の際にはあいざつを忘れずに。

3 不便さも楽しむ勢いで

コンビニがないところや、公共交通機関が極端に少ないことも。現地ですっかりチェックをして、不便さも理解した上で移住を決めよう。

STEP 1

何のためのえひめ暮らし？

移住するうえで一番大切なのは、目的をはっきりさせること。「都会暮らしに疲れたから」だけでは、理想とのギャップにうまくいかないこともあります。「豊かな自然のなかで子育てをしたい」「就農したい」「週末にアウトドアを楽しみたい」など、まずは目的をしっかりと持ち、それがブレなければうまくいくはず。週末だけ「えひめ暮らし」をする二地域居住という選択肢もあります。

STEP 2

パートナーや家族と合意していますか？

移住を実現させるためには、パートナーや家族の理解を得ることが大切です。近年、ライフスタイルの変化やテレワークの浸透により、自身の生活を見つめ直す人が増えています。考え方は人それぞれで、パートナーのどちらかが移住を希望しても、どちらかは無関心…では、移住してもうまくいきません。子どもたちも含め、家族全員が合意のうえで移住を決めましょう。

STEP 3

条件をリストアップしよう!

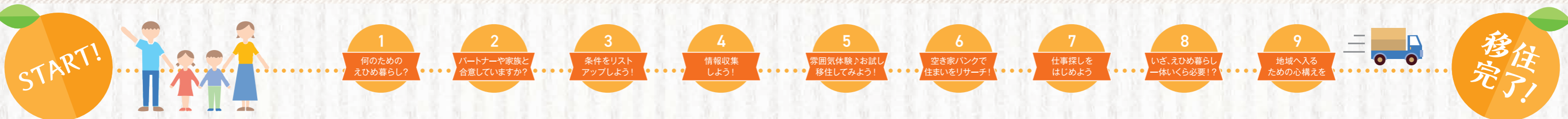
「これだけはゆずれない!」という、「えひめ暮らし」の条件はありますか? 「海の近くに住みたい」「田畑を耕す生活をしたい」「保育園の近くがよい」など、人によって求める条件はバラバラなはず。当然地域によって、環境もさまざま。理想ピッタリの場所を見つけるのはなかなか困難なので、ゆずれない条件を3つぐらいにしばって探していくのがベスト。優先すべき条件が明確であれば、自治体の担当者や不動産業者に相談するのもスムーズです。

STEP 4

情報収集しよう!

今は、ネット環境の充実と地方移住への関心の高まりから、都会に住みながら「えひめ暮らし」の情報を得るのが簡単になってきました。移住希望者が必要とする情報を一元化している愛媛県移住ポータルサイト「えひめ移住ネット」などを活用して、まずは情報収集を。実際にくわしく話を聞いてみたい場合は、移住相談窓口の「愛媛ふるさと暮らし応援センター」へ。東京・大阪・愛媛、それぞれにえひめ移住コンシェルジュがいるので気軽に相談を。また、東京・大阪や、オンラインで開催される移住フェアでは、地元の方から直接お話を聞くこともできます。

Check! 移住相談窓口・愛媛県の移住最新情報は次ページ(P7~8)をCHECK!!



STEP 5

雰囲気体験♪ お試し移住してみよう!

田舎暮らしの経験がない人は、ぜひ一度「お試し移住」を。愛媛県内には地域によって「お試し住宅」があります。入居期間1週間～数年で選べたり、物件自体も古民家やマンションだったり様々。お試し移住では、観光地ではなく、スーパーや公共交通機関などの生活インフラをチェック。病院や保育園等の状況も確認しておくといいかも。また、農作業を手伝いながら宿泊まりできる就農研修制度やワーキングホリデー制度を用意している自治体もあるので、各自治体へお問い合わせください。

Check! お試し住宅情報はP21
支援制度情報はP9~18をCHECK!

STEP 6

空き家バンクで住まいをリサーチ!

えひめ暮らしを決めたら、まずは住まい探し! 賃貸マンション住まいもよいけれど、田舎暮らしを望むのであれば空き家を利用するのもひとつ。民間の不動産業者のほか、愛媛県及び市町が運営する「空き家バンク」も充実しているので、まずはHPをチェック。見学時には水回りや、家の状態、まわりの環境などをしっかり確認しましょう。物件の条件にもよりますが、自分たちでリノベーションしながら理想の住まいをつくりあげるのが楽しいですよ。

Check! 住宅改修支援制度はP22
空き家バンク情報はP22~24をCHECK!

STEP 7

仕事探しをはじめよう

移住で、自分の希望した暮らしを手に入れられるのは間違いないけれど、心配なのはやっぱり仕事! 産業構造が異なるため、移住前と同じ仕事に就けなかったり収入が下がったりすることもあります。しかし現在、各自治体で移住者の仕事斡旋に力を入れている所も増えてきています。愛媛県の仕事探しは、県公式の求人・移住総合情報サイト「あのこの愛媛」をチェック。県内の求人情報を数多く掲載しています。

Check! 仕事探し情報はP19をCHECK!

STEP 8

いざ、えひめ暮らし一体いくら必要!?

「田舎に住むと、生活費が安くなる」そう考える人が多いと思います。家賃や娯楽にかかるお金など、都会と比べてローコストで生活できますが、「移動のために車が必要」など、田舎特有の出費も。地方税、国民健康保険料、固定資産税、車の維持費などを入れれば、生活費以外の年間支出はおよそ60万円。消費支出を抑えても生活費が1か月10万円程度かかると考えれば、最低ラインを年間180万円～と考えるのが妥当かもしれません。

STEP 9

地域へ入るための心構えを

愛媛県の県民性は、一般的に「穏やか」と言われています。「人のよさが決め手となり移住した」という人も多います。しかし、愛媛県ならではの人付き合いが存在するの事実。地域によっては住民同士で助け合うためにつくられた、「組合」や「町内会」といったコミュニティも存在します。「組内の人の冠婚葬祭には必ず出席しなくてはならない」などその地域特有の決まりがあったりもします。分からないことはどんどん聞いて、人間関係を築いていきましょう。